

独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和5年度第2回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和5年7月24日（月）13時00分～15時15分

2 開催場所

外苑事務所 大会議室1（Web会議システム併用）

3 出席委員（敬称略）

委員長 相葉 和良（弁護士）

委員 宮本 和之（公認会計士）

委員 小林 順治（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

4 議題

- （1）令和4年度契約案件（令和4年10月～令和5年3月）の事後点検について
- （2）2か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について
- （3）その他

5 審議概要

（1）令和4年度契約案件（令和4年10月～令和5年3月）の事後点検について

審議対象期間における契約案件162件のうち、以下の7件（一者応札案件4件、特命随契のうち代理店証明等の証明書がない案件3件）を抽出し、競争性の確保に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆契約件名：ハイパフォーマンススポーツセンターで使用する電気一式の調達

契約種別	落札率	留意する点検事項
消耗品	100.00%	代理店証明等の証明書がない随意契約

（質問）最終保障供給制度を利用するよりもメリットがあるのか。

（回答）HPSCは多くの電気を使うため、試算上は最終保障供給制度を利用するよりもコスト的なメリットがある。

（質問）昨年度は最終保障供給制度を利用したのではなかったか。

（回答）令和4年度の入札が不調になり、契約相手先が見つからなかったことから最終保障供給制度を利用した。令和5年度分の調達で改めて入札をかけたが、それも不調となったことから、コスト削減が見込まれる事業者と随意契約を締結した。

◆契約件名：国立代々木競技場で使用する都市ガスの調達

契約種別	落札率	留意する点検事項
消耗品	100.00%	代理店証明等の証明書がない随意契約

(質問) 今回の契約は、前年度の契約よりも単価ベースで上昇しているのか。

(回答) 確認した後ほど回答させていただく。

<確認後回答>

ガスの使用量単価について、現在は令和4年度の一番高い時期であった11月頃よりは安くなっているが、同時期に比べると高くなっている。

令和5年1月頃からは、価格の激変は無いものの、毎月の価格は変動しており、先を見通すのは難しい状況が続いている。

◆契約件名：新秩父宮ラグビー場（仮称）整備・運営等事業の業績監視支援業務（財務・法務分野）

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	代理店証明等の証明書がない随意契約

(質問) 契約相手方は、この新秩父宮ラグビー場整備・運営等事業の別の業務でも関わりがあるのか、教えていただきたい。

(回答) 発注の際のコンサルタント業務をお願いした。

(質問) 今後もこのような業務支援が必要となるのか。

(回答) 新秩父宮ラグビー場整備・運営等事業は、新秩父宮ラグビー場を建設し、そこから運営期間が30年間続くことになるため、今後も業務支援を発注していくことを想定している。

◆契約件名：映像伝送機器等の購入

契約種別	落札率	留意する点検事項
備品	100.00%	競争入札において応札者が一者のみ

(質問) 仕様書に書かれている機器の中に、調達が難しいものがあるのか。

(回答) ビデオカメラやモニタといったものは一般的な仕様だが、伝送装置に関しては製品を指定しているため、取り扱うのが難しいという業者もあったのではないかと推測はできる。

◆契約件名：慣性センサ式3次元モーションキャプチャシステムの購入

契約種別	落札率	留意する点検事項
備品	100.00%	競争入札において応札者が一者のみ

(質問) 調達物品は汎用品ではないのか。また、特定の代理店等でないと販売していないのか。

(回答) 機器を指定しているため、参加できる者や取り扱える企業が少なかったのではないかと考えられる。

(意見) 落札率が100%であり、競争性が狭められているという見方をされる可能性もあるため、機器選定理由等の検証には留意される必要があるのではないかと。

(質問) 受注生産なのか。また、発注から納品まで時間がかかるのか。

(回答) 海外製品であり、受注生産かどうかまでは把握していないが、海外で作って日本に持ってくるため、その時間はかかる。

(意見) 発注から納品まで時間がかかるということであれば、入札の時期を前倒しすることを検

討してもよいのではないか。

(回答) 承知した。

◆契約件名：「ポータブルアイスバス」の調達

契約種別	落札率	留意する点検事項
備品	98.68%	競争入札において応札者が一者のみ

(質問) 公告期間に年末年始が含まれるが、それを踏まえて期間を長くすることはあるのか。

(回答) 公告期間は営業日ベースで確保しているため、休日が含まれる場合は期間が長くなる。

(質問) 調達物品の数量はどのように算出しているのか。

(回答) 本物品の利用が想定される選手数やサポートする場所、本物品に繋いで利用する機器の台数等を鑑みて数量を算出している。

(質問) 12月末に公告しているが、もう少し前倒しすることはできなかったのか。

(回答) 予算がどの程度確保できるかが見えてこなかったということもあり、少し遅くなってしまった。

◆契約件名：中央競技団体等とのコミュニケーション推進のためのポータルサイト運用・保守業務

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	94.94%	競争入札において応札者が一者のみ

(質問) プラットフォームを指定している理由は何か。

(回答) 今回の運用・保守をする前の段階で、システム構築のフェーズがあり、様々な製品の中から本製品が選ばれており、その運用・保守であることから指定している。

(質問) 本製品の運用・保守ができる会社はどのくらいあるのか。

(回答) パートナー企業は何十社もあり、運用・保守ができる会社は多いと認識した上で調達をかけている。

(質問) 運用・保守期間を5年にされている理由を教えてください。

(回答) 業者が変わったときの引継ぎに係るコストや習熟に係るコストの削減が見込めること、期間を長くすることでノウハウが蓄積されるため、サービス・品質の向上にもつながり、安定稼働できること、また、第5期中期目標期間にあわせ、5年とした。

(2) 2か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について

令和4年度において一般競争入札を実施した結果、2か年度連続一者応札となった22件について、内容の点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

- | |
|---------------------------------|
| ① ハイパフォーマンススポーツセンター法定停電ネットワーク保守 |
| ② 令和5年度トレーニング映像収録システム等の保守業務委託 |
| ③ ハイパフォーマンススポーツセンター ネットワーク機器の保守 |

④ 令和5年度国立スポーツ科学センター各種研究用システム（測定関連）の保守点検

（質問）③について、入札に参加しなかった業者からの「一部機器について、保守期間が過ぎており保守対象外との回答を得たため」というヒアリング結果があったが、備え付けをしてから年数が経っているということか。

（回答）そうである。

（質問）契約相手方はその点について確認されなかったのか。

（回答）その点を理解した上で参加したのかは把握していない。

（意見）耐用年数が過ぎているものをそのまま使ってしまうとメンテナンス費用がかかってしまうことになるため、保守期間を過ぎているものがないか、原課に確認されたほうがよいのではないか。

（質問）予定価格はどのように作成されているのか。

（回答）入札に参加される意思を示されたところに市場価格調査として参考見積書の提供を依頼し、諸々の状況等を考慮して積算の上、予定価格を作成している。

（質問）②については、何者に依頼して何者から回答があったのか。

（回答）参考見積は一者のみとなる。

（質問）令和3年度より令和4年度のほうが、予定価格は高く、契約額は低いが、どのような理由が考えられるか。

（回答）点検する項目や場所などが少しずつ変更になった関係と、業者の企業努力や値上げの影響などにも左右されるものと考えている。

（質問）毎年上昇傾向にある内容なのか。それとも年度によるものなのか。

（回答）点検規模が小さくなれば金額も下がる。

（質問）点検規模は受託者の考えによるのか。JSCとして点検規模を決められるものなのか。

（回答）業者と相談しながらどこを点検するか検討することになる。

⑤ 令和5年度ハイパフォーマンススポーツセンター入退室管理システムの保守業務

⑥ 会話型数値解析プログラム MATLAB のソフトウェア保守

⑦ 令和5年度 医療機器等の保守点検

⑧ 国立スポーツ科学センター大型画像診断機器の保守点検

（質問）4件とも、システム又は機器等の納入業者や提供会社が保守を行っているのか。

（回答）⑤と⑧は構築業者である。

⑥は海外のソフトウェアのため、保守ができるところが少ないとのことであった。

⑦は様々な医療機器の保守をとりまとめている業者である。

（質問）⑧について、前年度に比べて予定価格は200万円程下がっているだけだが、契約額は1,200万円程下がっている。この理由が分かれば教えていただきたい。

（回答）対象機器の一つ一つの確認まではできていないが、保守対象機器が一部前年度と変わっていることから予定価格は下がっている。契約額としては企業努力により下がったものと考えている。

（意見）予定価格の参考とした見積業者と契約相手先は同じということで、仮に随意契約をして

いた場合にはおそらくこの予定価格が契約額になっていたと考えられる。
随意契約により入札手続きに係るコストを抑えられるという考え方もあると思われるが、このように競争入札によって金額を抑えられることもあり、競争を継続する意義はあるのではないか。

- ⑨ ハイパフォーマンススポーツセンター 産業廃棄物・リサイクル処理業務一式の委託
- ⑩ ハイパフォーマンススポーツセンター 一般廃棄物処理業務の委託
- ⑪ 映像ネットワークのSOC及びCSIRTセキュリティ対応
- ⑫ 独立行政法人日本スポーツ振興センター動産総合保険付保

(質問) ⑫について、資格等級がC等級の損保会社はあるのか。

(回答) 保険会社はほとんどがA等級だと認識しているが、最大限参加資格を拡大して募集をかけたものである。

(質問) 入札に参加しなかった業者からの「仕様を満たす保険商品がないため」というヒアリング結果があったが、契約相手方はそのような商品があったということか。

(回答) 海外に持ち運びするものにかかる動産保険というのは契約相手方以外にほとんどないようだが、保険商品にも数多くの種類があることから、入札にかけて広く公募している。

- ⑬ 災害共済給付オンライン請求システムの脆弱性診断業務（令和4年度）
- ⑭ 国立競技場ネットワークシステム運用・保守等業務
- ⑮ 令和5～7年度役職員等の健康診断業務及び産業医業務の委託
- ⑯ オリジナルQUOカードの作製等業務
- ⑰ 特定業務において年度末に必要な資金の調達

(意見) ⑬について、競争参加資格の業務実績に係る条件が「官公庁、政府機関、独立行政法人における業務実績」となっているが、例えば地方公共団体や地方独立行政法人、一定規模の民間企業への実績でもよいのではないか。

(回答) 今後の検討材料とさせていただきたい。

(質問) ⑮について、事業所ごとに契約するという方法もあるのではないか。

(回答) 過去に同じようなご意見をいただいたが、担当部署で検討した上で、現在の状況となっている。

(質問) 複数年契約にした理由はなにか。

(回答) 本業務に係る事務作業の効率化や経費の削減などが見込まれるためである。

- ⑱ 令和5年度 ハイパフォーマンススポーツセンター水処理薬剤の購入（単価契約）
- ⑲ 外国雑誌の購入
- ⑳ インソール型スマート足底センサの購入
- ㉑ 乳酸測定器（ラクテート・プロ2）用キットの購入
- ㉒ 衛生材料（医科）の購入（令和5年度）

(質問) ㉒について、衛生材料は一般的なものであり、競争性があってもよさそうなイメージが

あるが、そのあたりはいかがか。

(回答) 病院などであれば規模が大きいのだが、当センターの診療機関は規模が小さいため、あまりメリットがないと考えられる。

(質問) 仕様を細分化することは考えられるのか。

(回答) 効率性も含めて検討する必要があると考えられる。

(3) その他

委員からの意見等は特になし。

6 主な意見

- ・ 事業上の必要性から機器選定をする場合は、競争性を狭めているという見方をされないよう、理由書等の検証には留意すること。
- ・ 海外製品については、発注から納品までに時間を要することから、入札時期の前倒しを検討すること。
- ・ 耐用年数が過ぎているものをそのまま使うとメンテナンス費用がかかってしまうため、保守期間を過ぎているものがないか、原課に確認すること。
- ・ 競争参加資格の業務実績に関して、拡大が可能な案件については検討すること。
- ・ 契約相手方が、一つの事業において複数の業務で関わりがある場合は、それらの契約情報も会議資料として準備すること。